

第4回東栄町庁舎建設等検討委員会 議事録要旨

1、日 時 平成25年4月19日（金）午後1時30分～午後2時30分

2、場 所 東栄グリーンハウス 研修室

3、出席者 計27名

委員23名

柴田吉夫、平賀英俊、伊藤久代、初澤宣亮、片桐邑司、桂木勇、熊谷廉太郎、
鈴田勝美、一野瀬忠義、尾林良隆、井筒睦治、伊藤静男、山本保、佐々木経
人、藤原隆、原哲士、佐々木徹、金澤みゆき、金指旦夫、森一人、三崎順一
伊藤公子、西谷まゆみ

事務局 3名

副町長 村上孝治、総務課 課長 山本茂夫、行政係長 亀山和正

4、欠席者 7名

西尾重光、亀山隆、石田雄吉、鈴木義治、黒柳孝夫、渡邊忠司、夏目章子、
(敬称略)

5、議 題

- ・東栄町庁舎建設等検討結果報告書について

委員長 今までの協議をまとめた報告書の案についてご検討をいただき、その結果を踏まえて最終の報告書を作成し答申するので、ご審議をお願いしたい。

委員 小学校と併設することについてですが、豊橋市役所と豊城中学校、御津町役場と御津中学校、豊川市役所と金屋小中学校は併設されていますので、併設には問題ないと思います。庁舎には不特定多数の方がお見えになるので、防犯対策について、危険なものを持って来る恐れもないわけでない。豊橋市役所と豊城中学校等のように併設した場合には、壁を作るなり、防犯設備を作る等、危険な人が来た場合には安全対策に十分心掛けていただければと思います。

事務局 以前、小学校建設の時にも防犯対策も出ておったとおりにしっかり対応したいと思います。

委員長 今のご意見を項目に入れて作成したらどうか。皆さんよろしいか。入れた方がよいとのことですので、具体的に入れる文言は教育委員会と事務局で相談いただき入れる様をお願いをします。

委員 設置要綱4所掌事務の中に建設時期あるが、目処をたてるとありがたい。報告書の表現で5ページ「4階建てであるため」は「4階建てであるけれども」、7ページ「配慮します」は、表現を改めたらどうか。

委員長 文言については冒頭事務局から説明がありましたとおりに修正します。

事務局 前回出ましたように財源的問題もあり、平成24年に5,000万円程基金を積みました。補助事業、有利な起債を含めて検討し、かかる費用の2分の1程度は自主財源を持たないといけない。概ねという書き方ができないといえないが、あえて事務局としては時期を入れておりません。

委員 東南海地震が叫ばれている中で地盤は大丈夫か。本郷高校建設前はどのような所だったのか。今後その対応はするのか。

事務局 校舎はもともとの土地だと思う。小学校建設地は若干埋めた。南から北への傾斜的な地質と思う。小学校建設はボーリングを行い、路盤を見てある。県が建てるときに地質調査したと思う、改めて町は調査を行っていない。現在は良い状況と考えており、実施設計の時はやる場合もある。

委員 現在校舎にひび割れがあるか。最初から化粧する気があるか。ATMを移すことができないか

事務局 基本設計で必要があれば調査します。機能的に配置を考え、ATMは外からの利用も必要であり、避難経路も考える。消防法も当然かかる。

委員 教育長室が無くて良いか。

事務局 教育委員会の横に会議室を設けてあるので対応可能である。

委員 関心があり、心配するのは財源の問題。財源がかかるのを承知の上で答申するか、財源は承知する事で別の機関で有利な方法を考えるのか。

事務局 7ページのように新築するのは財源がかかる。答申を基に議会へ報告させていただく。財源の見通しやスケジュールを立てて財源を確保する。総合計画の次の中長期計画に載せ、平成28年から新しい総合計画に位置付けて考える。

委員 財源はこのくらいかかると承知して、内容についてはこれからで良いか。

委員長 財源はいくらかかるか分からないでなくて、概算の金額は出した。その財源の確保を頼りしっかりやってほしい。報告書は、「配慮します、検討を行うものとします」は「配慮してください、検討をしっかり行って下さい」と作り変えて答申したいと行います。

委員 役場は若い世代の雇用の場である。役場職員として働きたいと思われる仕掛けが必要。

事務局 前回、愛大の先生が言われる様に新築が全てではない。東栄町らしさを出して計画したい。

委員長 防犯の内容も取り入れた形の中で4月24日に町へ答申することになると思う。それまでに会議が持てないので修正したものを送付し拝聴いただきたい。(異議なし)。委員の皆様には委嘱以来、真剣にご討議ありがとうございました。4月24日に答申させていただき解散といたします。